

九州運輸局メールマガジン 平成25年3月7日 第206号

～九州の明日を拓く運輸と観光～

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/>

目次

1 九州運輸局ホームページアップ情報（2月28日～3月6日掲載分）

- ・各種情報
- ・各種手続き
- ・分野別情報
- ・お知らせ

2 現場レポート

- ・外航船長経験者からのアドバイス
～船員の仕事について出前講座を実施～

3 「九州オルレ」特集

4 国土交通省からの公共交通に関する情報

5 公共交通に係る意見募集について

1 九州運輸局ホームページアップ情報

（2月28日～3月6日掲載分）

-----各種情報-----

《入札契約情報》

物品・役務入札公示（3月1日分 2件）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list.html#BUPPIN_CHOTATSU

-----各種手続き-----

《海技試験制度・合格発表》

海技試験の総合合格者発表・筆記試験の科目合格発表・口述試験の日程

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kaigisiken/body.htm>

-----分野別情報-----

《バス・タクシー・トラック》

タクシーの申請・処分状況（平成25年2月分）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji_bu_ka/taxi/taxi_syobun2502.pdf

《バリアフリー》

旅客施設・車両等のバリアフリー化進捗状況（平成24年3月31日現在）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/koutuu/file06/bf-shinchoku23.pdf>

交通バリアフリー通信 第8号

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/koutuu/file10/kbftuusin_008.pdf

----- お知らせ -----

内航船舶管理会社の活用に係る相談窓口を設置しました。

2 現場レポート

外航船長経験者からのアドバイス

～ 船員の仕事について出前講座を実施～

博多湾に面した風光明媚な百道浜（ももちはま）地区にある百道中学校から、1年生の総合的な学習『社会人講話』のゲストティーチャーの依頼を受け、九州運輸局は、2月7日(木)に船員労働に関する出前講座を実施しました。

この講話は、「職業調べ」学習の一環として、アナウンサー、ペットリマー、スポーツ指導員など様々な職業の方々から話を聞くものです。講師は色々な質問に答えて、仕事上の喜びや大変さ、専門性や就職希望者へのアドバイスを行います。

講師は、海上安全環境部の江本次席海技試験官です。長年の豊富な外航船長の経験をもとに巨大タンカーやコンテナ船等での仕事について、地球儀も使いながら生徒達に解りやすく話をしました。生徒達は、知らない外航船員の仕事や外航航路について熱心に説明に聞き入っていました。講義では、生徒の意欲・意気込みが強く感じられました。「海賊はどんな攻撃をしてくるの?」、「船で病気になった時に医者はあるの?」、「船長のやりがいと船員になったきっかけは何?」、「船舶での輸送のメリットは何?」と次々と繰り出される質問に講師もタジタジとなる場面もありました。このため、時間を大幅に延長して、やっと講義を無事終えることが出来ました。

この出前講座で、先生を含め生徒達には「船や船員」に対して少しは興味と理解を増して頂けたのではと思います、今後とも継続的に実施する必要性を改めて感じました。

最後に、「この中学校から将来一人でも海事関係の職業に携わってくれたら・・・」と切に願う次第です。

当日の様子は下記のURLからご覧いただけます。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_206_2.pdf

【海上安全環境部 調整官】

3 「九州オルレ」特集

～ 「九州オルレ」第二次コースを紹介します。～

「オルレ」は韓国・済州島から始まったもので、もともとは済州島の方言で「家に帰る細い道」という意味です。自然豊かな済州島でトレッキングは大人気で、今や年間200万人の人々が訪れるようになり、「オルレ」はトレッキングコースの総称として呼ばれるようになりました。

九州運輸局と九州観光推進機構は、九州への興味を喚起する新たな取り組みとして、「九州オルレ」事業を実施しています。この事業は「済州島オルレ」のブラ

ソンド力を活用して九州各地の魅力的なトレッキングコースを「九州オルレ」として韓国市場にアピールするものです。

昨年2月に4コース（佐賀県・武雄コース、熊本県・天草維和島コース、大分県・奥豊後コース、鹿児島県・指宿開聞コース）を選定し、本年1月29日に第二次コースとして4コース（長崎県・平戸コース、熊本県・天草松島コース、宮崎県・高千穂コース、鹿児島県・霧島妙見コース）を新たに選定しました。

今後とも、韓国から九州への誘客をさらに促進するため、魅力的な温泉や宿泊施設などを組み合わせた高付加価値な旅行商品として定着するよう、取り組みを進めて参ります。

【企画観光部 国際観光課】

今週から4回にわたり、第二次コースとして選定された4コースについて、体験者からの感想を掲載していきます。

1回目は長崎県・平戸コースです。

九州オルレ 長崎県・平戸コースオープン 2月18日（月）

当日はあいにくの雨模様でしたが、平戸港交流広場にて朝早くから始まった発表会やコース体験には、済州島オルレ理事長、韓国のオルレ愛好家やお迎えする側の平戸市長など約70名が参加し、平戸コースへの期待感が大いに感じられるものでした。

式典では始めに、黒田平戸市長が平戸コースの特徴である異国情緒漂う街並みや川内峠からの雄大な自然景観の紹介を歓迎の気持ちを込めて流暢な韓国語で挨拶されました。引き続き済州島オルレのソ・ミョンスク理事長が平戸コースを絶賛される等、終始和やかなムードで進みました。

その後、盛大な拍手の中でテープカットが終えると、突然、韓国から参加された皆さんが「韓国スタイルのテープカット」をサプライズで行って下さるなど、積極的に場を盛り上げておられたのが印象的でした。

前日の意見交換会の疲れも感じさせない参加者は、カッパ姿に身を包みながらスタート。しばらく歩いて、雨に包まれた竹林の小道を抜けると、三重塔としては日本最大級の最教寺です。「西の高野山」とも言われる朱色の塔を間近に仰ぎ見て先に足を進めました。次の平戸島北部の大パノラマが広がる川内峠では、遠くに壱岐・対馬までが眺望できるので、「日本百名道」と呼ばれています。さらに次は、疲れを癒してくれる平戸温泉うで湯・足湯です。多くの参加者はうで湯は初めての体験でした。ぬるぬるとした肌触りが疲れた手足にじんわり効いてきます。これも「平戸オルレ」の大きな楽しみです。

約4時間をかけて参加者全員が「九州オルレ・平戸コース」を楽しみました。

平戸市の観光担当者は、「韓国からの観光客の増加につながれば」と期待しておられました。この九州オルレが、新しい観光コースになり、お客様が、大勢こられることを願います。是非あなたもこのコースを体験してみませんか。

当日の様子は下記のURLからご覧いただけます。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_206_4.pdf

平戸コースの詳細については下記のURLからご覧いただけます。

<http://www.welcomekyushu.jp/kyushuolle/?mode=detail&id=8>

【長崎運輸支局】

4 国土交通省からの公共交通に関する情報

国土交通省公共交通政策部交通計画課から発信された公共交通に関する情報を下記のURLからご覧になることができます。

URL: http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_206.pdf

<コンテンツ>

地域公共交通事例充実！！地域公共交通支援センターホームページを開設しました！！（国土交通省総合政策局公共交通政策部）
交通政策基本法案（仮称）について（国土交通省総合政策局公共交通政策部）
茨城県エコ通勤推進会議について（国土交通省総合政策局公共交通政策部）
交通実践セミナーin 広島開催報告について（中国運輸局）
地域公共交通のイロハ（九州運輸局）
編集後記

5 公共交通に係る意見募集について

- ・九州運輸局では公共交通全般について、幅広くご意見を募集いたします。
（対象はメールマガジンの内容に限りません）
- ・頂いたご意見のうち、当運輸局において政策提言に当たると考えられたものは、国土交通省総合政策局公共交通政策部に報告いたします。
以下のメールアドレスまで電子メールにてお寄せ下さい。
（添付ファイルは、なるべく避けて頂きますと幸いです。）

送付先

九州運輸局企画観光部交通企画課 gst-kikaku@gst.mlit.go.jp

//////// 編集部より ///
高齢の親の足回りを良くするために家の改修をしている。断捨離とともに生活導線を見直しているが、壁を開けた際、シロアリでスカスカになった梁が出てきた。大工さんの話では、ベニア板で覆ったために風通しが悪くなり湿気がこもりシロアリの格好のえさ場になったのだらうとのこと。高度成長時代にススで黒ずんだ天井や梁を見栄えよくしたつもりが逆効果だったようだ。
いやはや、家も人も同じようだ。
余計なものを取り除き、風の通りを良くしたら、庭の花々が良く見えるようになった。母の足元が危なくないようにライトも変えると部屋が明るくなった。母は慌てて掃除をしている。
あなたも外からの風（意見・助言）を入りやすくして、内面が朽ちないように保

たないとね、と妻から言われてしまった。

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧いただき誠にありがとうございます。
編集部では、運輸と観光行政に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報
等、本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿くだ
さい。

//

本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/top.html

本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html

九州運輸局メールマガジン編集部（九州運輸局総務部内）

mail: mm-kyushu@qst.mlit.go.jp

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192